

2025年度 愛知県病院薬剤師会がん部会 報告会

日時 2026年3月1日(日) 13:30~17:00

場所 ウインクあいち 1003号室
(JR名古屋駅より徒歩5分)

募集人数 100名

参加費 500円(現地支払い)



※参加登録は、下記のURLかQRコードにてお願いします。(2月27日締切)

<https://forms.gle/LMFp95LGpoC1PovQ8>

「愛知県病院薬剤師会がん部会」は2014年に発足以来、がん薬物療法を学びたい方、専門・認定薬剤師の取得を目指す方、専門・認定薬剤師を取得し更に研鑽を目指す方など多くの会員が継続して参加しています。他院の薬剤師との連携や人間関係を構築し相互に切磋琢磨することで薬剤師としてのモチベーション維持に役立つ場、および日常臨床での疑問や相談に対応できる場として活動してきました。その成果は、学会発表や論文投稿など様々な形で積極的に発信しています。今年度もグループ毎にweb会議や対面会議にて積極的なコミュニケーションを図り、多くの成果を上げることができました。2025年度報告会は集合形式で開催し、終了後に懇親会開催を予定しております。是非多くの方々にご参加いただき、活発な意見交換を行いたいと思います。

愛知県病院薬剤師会 がん部会部会長 宮崎 雅之

開会の挨拶

名古屋大学医学部附属病院 宮崎 雅之

がん薬物療法に関する臨床研究グループ (13:40~14:30)

座長 名古屋記念病院 壁谷 めぐみ

当グループは「がん薬物療法に関する臨床研究」に取り組んでいます。今回、2023年度に開始した研究テーマと新たに研究を開始するテーマについて報告します。いずれも日頃の疑問から臨床研究につなげた課題になります。今回報告する研究以外にも、様々な多機関共同研究を実施しております。研究にご興味のある先生方は、ぜひ気軽にご参加ください。

13:40-13:50 『2025年度 がん薬物療法に関する臨床研究グループ 活動報告』

NHO 豊橋医療センター 井上 裕貴

13:50-14:10 『血液透析がん患者におけるオピオイドならびにCYP3A4阻害薬の使用と有害事象の実態に関する多機関共同後方視的研究』中部労災病院 荒川 正悟

14:10-14:30 『タルラタマブ初回投与時におけるデキサメタゾン投与量の違いがCRSおよびICANS発現に及ぼす影響: 後方視的検討』 NHO 名古屋医療センター 櫻井 凌

ツール作成グループ (14:30~14:45)

座長 KKR東海病院 川合 甲祐

当グループは16名でがん化学療法に携わる薬剤師の教育や業務支援となるツールの作成に取り組んでおり、必要とする情報を集約した「消化器癌 Reference book」を作成しています。今年度は、診療ガイドラインの改訂に併せ大腸癌編の更新を行っています。作成したツールは愛知県病院薬剤師会ホームページ(https://apshp.jp/exp_ph1/)にて会員に向けて順次公開しています。

『実臨床の視点で再構築する業務支援ツール ~「消化器癌 Reference book」大腸癌編~』

名古屋大学医学部附属病院 飯沼 真理

座長 一宮市立市民病院 岩田 智樹

当グループは臨床の現場で活かせる実践的な内容の学習や、医療(薬薬)連携強化を目的とした活動を行っています。今年度は、6月と1月に2回ワークショップ(WS)を開催しました。WSの構成としては、外部講師による講演、ワールドカフェ方式を取り入れた座談会、模擬症例からトレーシングレポート及び情報提供書の作成を行うSGDの3部構成で実施し、病院-保険薬局間での情報共有の工夫や連携ツールのよりよい活用方法について討議を行います。報告会発表時には、開催状況も併せて報告します。

『 臨床で活用できる薬薬連携を目指して ~ワークショップ開催方式と実施内容の検討 ~ 』

名古屋徳洲会総合病院 松岡あゆみ

緩和療法に関する臨床研究グループ (15:00~15:30)

座長 刈谷豊田総合病院 江崎 秀樹

当グループは「症状緩和班」「ポリファーマシー班」「サイコオンコロジー班」「オピオイドの自己管理調査班」の4班で構成されており、比較的若手が多いグループです。毎月1回、全体集会(集合もしくはオンライン)を行い、その後各班に分かれ、研究に取り組んでいます。症例検討会を随時行っており、初学者のために症例検討会後の解説も行っています。今年度から、論文の抄読会も始めました。今回の報告会ではグループ全体の活動をグループリーダーに行っていただき、その後に「サイコオンコロジー班」が発表させていただきます。

15:00-15:10 『緩和療法に関する臨床研究グループ 活動報告』

愛知医科大学病院 加藤涼子

15:10-15:30 『ナルデメジンにおける終末期がん患者のオピオイド誘発性便秘に関連した
せん妄への影響』 刈谷豊田総合病院 斎藤 旭美

論文採択者からの報告 (15:40~16:00)

座長 名城大学 築山 郁人

がん部会では日常臨床での疑問を解決すべく、様々な観点からの臨床研究に取り組んでいます。今年度は、「旧・支持療法に関する臨床研究グループ」の研究課題が日本臨床腫瘍薬学会誌に採択されました。今回、筆頭著者より採択論文の研究内容および論文が採択されるまでの取り組みについて報告いたします。

『がん化学療法における薬薬連携による処方提案の障壁に関するアンケート調査』

トヨタ記念病院 杉本 智哉

特別講演 (16:00~16:55)

座長 トヨタ記念病院 久田 達也

『白血病サバイバー × 元製薬会社MRトレーナー』より
「患者の孤独」と「医師の論理」をつなぐ病院薬剤師のための
戦略的コミュニケーション

しあわせです感謝グループ 代表 久田 邦博先生

閉会の挨拶

名古屋大学医学部附属病院 宮崎 雅之

- ◇本会は日病薬病院薬学認定薬剤師制度II-6領域(1単位)の単位を取得可能です。
- ◇単位取得には報告会終了後にキーワード提出と必要になります。詳細は終了時に説明いたします。
- ◇取得した個人情報は、日本病院薬剤師会への受講者名簿を提出する目的でのみ使用いたします。
- ◇参加費:500円(現地にて現金支払い)



報告会会場へのアクセス



【本報告会に関するお問い合わせ窓口】

愛知県病院薬剤師会 がん部会 宮崎雅之

〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町65 名古屋大学医学部附属病院 薬剤部

TEL:052-744-2673 E-mail:miyazaki.masayuki.e8@mail.nagoya-u.ac.jp